



愛知陸協広報

第7号

19年9月28日発行

愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

e-mail ark@marble.ocn.ne.jp

ホームページ: url <http://goldjaic.org/jaic/member/aichi/>

平成19年度上半期を振り返って

理事長 國分 一郎



①平成19年度の最新の登録者数は一般2535名、高校生4581名、中学生4826名です。昨年の同時期の登録者数は一般2341名で194名増、高校生4694名で113名の減、中学生4068名で758名の増になっています。登録競技者数減少で困っている陸協が多い中でありがたいことです。

②本年度より、参加料の送金を現金書留から郵便振替に変更しました。現金を扱わなくても良いようになったのは事務局にとって助かりますが、支部大会・高体連大会の参加料振込や二重振込等が多数あり、点検・返金事務が増えました。また振替送金の引き出し・通帳への入金・出金・小切手作成など、皆様の気付かないところで事務局の新たな仕事が生じています。

③ミズノ所属の室伏由佳選手が、5月13日岐阜メモリアル長良川陸上競技場で開催された中部実業団対抗陸上競技大会女子円盤投で58m62の日本新記録を樹立しました。愛知選手権大会の第2日(7月22日)に瑞穂陸上競技場において特別表彰をしました。7月6日付けで日本陸連より参りました日本記録通知文書によりますと、1月28日にドイツのカルバッハで日本保育サービスの中田有紀選手が、室内5種競技の日本記録を樹立しております。理事会等適当な機会を見つけて特別表彰をします。

④4年に一度東海中学陸上競技大会が愛知県で開催されます。東海大会ですから、愛知陸協の総力をあげて取り組まねばなりません。審判出欠調査からこの大会は外されていました。審判編成は、瑞穂陸上競技場に慣れていない審判員、審判出席日数の少ない審判員、審判資格の無い人で編成されていました。そこで各部署の主任にはベテラン審判員に入っただき、資格の無い人は補助審判員としました。費用の面で中体連が困っていたので、陸協関係の審判員の経費等を陸協で負担しました。県中学総体も一部陸協審判員が入っていましたが、その経費も陸協で負担しました。

⑤平成19年度の全日本中学校陸上競技大会は宮城県の宮城スタジアムで8月20日より3日間開催されました。例年愛知陸協は、激励金を出して出場者を激励しています。昨年の参加者は35名でしたが、本年は53名で18名増になっています。標準記録を突破した生徒が多く、レベルアップは嬉しいことです。

⑥前記のように中学生の大会に陸協のベテラン審判員を投入し、費用を援助しなければなりません。5~6年後には全日本中学校陸上競技大会が愛知県に来る予定です。その対策のため、来年度より中学生の登録料を学校分担金6,000円、個人登録料500円とします。対象生徒を隣県のように中学生全員とせず、登録希望生徒のみとします。

⑦8月25日に豊橋陸上競技場において、日本陸連主催の陸上教室を開催しました。日本陸連から事務局員・普及部委員の方々6名が参加してくださいました。また地元豊橋から支援コーチ12名、補助員30名が協力してくださいました。受講生として158名が出席しました。この教室を円滑に運営するため、前日17時30分よりジェントリーホテル豊橋にて打合せ会を開催し、打合せや資料作りに支部長の牧田功氏・支部理事長の夏目輝久氏に協力をいただきました。

⑧8月25日より世界陸上競技大会が大阪の長居陸上競技場で開催されました。中・高生優秀競技者44名の激励と審判出席日数の多い優秀審判員97名へのお礼を込めて、1泊2日で大会観戦に派遣しました。室伏広治選手が27日夜に出場するというので、27~28日としました。我々の見ている前で優勝してくれることを願っていたのですが、結果は6位入賞でした。



世界陸上大阪大会観戦 (8/25・26)

支 部 報 告

名古屋支部

若手選手の活躍に期待

「目指せ 2007 世界陸上大阪大会」を合言葉に、4月の支部記録会を皮切りに県選手権支部予選、小学生・中体連・高体連の大会は、いつになく熱い闘いが展開されています。中田選手(7種)や内藤選手(110mH)の活躍は、小中学生にとって大きな励みです。ジュニア層の指導者諸氏のご尽力に感謝すると共に、全国大会での活躍に期待します。

支部役員が一部改選され、組織の活性化と審判員のマナーの向上に、名古屋支部がリーダーシップを発揮していくことが課題です。

1 H19 年度会長表彰受賞者(4名)

数馬公、佐野昭二、岩瀬一、安藤好郎

2 新規支部役員(H19.20年度)

- ・副理事長(3名)水野隆夫、安田純久、植田准次
- ・専門委員長(2名)小森好治(審判)、新見精三(記録情報)
- ・新理事(7名)新見精三、新美準人、飯田日出男、田中輝彦、長谷和志、高田佳明、篠原喜秋(監事)

3 9月に知多・半田の陸上競技場に報道・カメラゼッケンを納入予定。ぜひ活用を。

4 大会申込み、記録処理にコンピュータを導入。取扱い・プログラミングに堪能な人を募集しています。ぜひ協力してください。

5 支部選手権・選手権賞寄贈

10月20、21日の支部選手権には、全種目とも優勝者に選手権賞のカップが贈られます。これは、理事や専門委員のご厚意によるものです。選手諸君の健闘を期待します。

6 小学生ジュニアクラブの紹介

なごや陸上C、小牧ジュニア、JAC(大府、武豊、豊明、知多)、SC(成岩、乙川)、YOUKI、片葩AC、TFC半田、半田 JrTC等。

7 今後の予定(10月~12月)

- ①支部選手権大会(10/20、21)
- ②エブリバディデカスロン(11/10、11)
- ③万博記念愛知県市町村対抗駅伝(12/1)

(坂井田醇三)

尾張支部

上半期活動報告

1 各種競技会

- ①第1回支部記録会 4/7(土)・8(日) 一宮総合運動場
 - ・参加者数 個人 1054人 リレー 62チーム
 - ・シーズン開幕の記録会として小中学生、高校・一般を含め多数の参加があり、活況であった。
- ②愛知陸上選手権兼国体予選 6/2(土)・3(日) 一宮総合運動場
 - ・中学通信、中学混成、加盟団体と4種大会を共催する形で競技運営している。そのため時間プロ、審判役員、補助員等の編成において、様々の工夫をしている。関係者の理解と協力に感謝するとともに、より一層の盛り上がり期待したい。
- ③第2回支部記録会 8/25(土)・26(日)

一宮総合運動場

・夏休みの練習の集大成や新人戦を控えての練習の一環としての参加など、灼熱の中で無事に終了できた。しかし、例年のごとく高校生の参加が少なく、土のグラウンドというハンディが強く影響しているのが現実だ。

- 2 全国大会参加者…全国中学、全国高校、全国定通、そして世界陸上と支部出身のアスリートが大活躍した。さらに刺激を受けて後に続けたい。

全日本中学…1500mと3000m、400m

小島秀斗(今伊勢)は1500m ⑤県中学新全国高校総体…ハンマー投2名出場(2名とも起工業) 全国定時制・通信制大会…100m・200m、2000mSC、走幅跳、4×100mR(いずれも起工業)

*世界陸上大阪大会…20km競歩杉本明洋(滝高OB)

3 愛知県一宮総合運動場の改修について

これまでも改修に向けてこの紙面をお借りし、その具体化に向けての進捗状況を報告して参りましたが、いよいよ建設に向けての一步を踏み出すことができました。現段階では、県の関係機関との折衝と具体化への詰めの段階にきています。予算措置、図面上での要望・確認、業者選定等着々と歩を進めています。平成21年春の開場が待ち遠しいかぎりの状況です。完成に先立ち、競技場の利用方法、利用料金等いろいろと参考になるご意見等をお願いします。

(原川 豪)

西三河支部

高校の県総体では、例年以上に西三河勢の活躍が目立った。その中でも特に神がかり的な活躍で、岡崎城西が男子総合優勝、女子準優勝を果たしたのは立派でした。

西三河勢の東海大会出場は、男子18種目(リレー2含む)・女子15種目(リレー2含む)でした。佐賀インターハイの入賞は岡崎城西の河澄真子選手(走高跳4位)のみでしたが、他にも2年生が主力の学校があるので来年度に期待したい。

県中学通信の入賞者は、男子24種目(リレー3含む)・女子15種目(リレー2含む)・全国標準突破者は男子1・女子3でした。県中学総体では、男子32・女子31種目、学校数25校の入賞者があったことは、東海・全国大会の活躍はもちろん、今後の西三河支部の更なる発展が期待される。

県小学生リレー競走大会では、残念ながら優勝は逃したものの東海大会には、男子1・女子1・混合2チームが参加した。

小中高各層とも記録的な猛暑の中、それぞれの選手やそれを支えていただいている指導者のご努力に敬意を表します。

前回の広報で、支部長も中学校の審判員不足を危惧されていましたが、実際に東海総体を運営された先生方は、ご苦労されたと聞いています。中学は高校以上に陸上競技の経験のない先生が顧問をされている事を考慮し、支部としても陸上教室だけではなく、各大会ごとに審判養成のための指導会を計画し、その中で一人でも多くの審判員を養成していくことが急務です。支部陸協の組織は、ここ数年でかなり強化されましたが、小中学校関係のスタッフも世代交代期になっているので、特定の先生に過重負担とならないように、組織強化を今後の重点課題にしたいと思います。

(柴田 和秀)

東三河支部

上半期の活動を終えて

平成19年度春の大会が、スムーズにスタートした中で、6/16の県小学生陸上を制した16名は、7/28、第23回全国小学生陸上競技交流大会(大阪長居陸上競技場)に出場。

全国から将来のオリンピック選手を夢見る1000名余りの精鋭が、優勝を目指した。

女子4×100mR(田原陸上ク)は準決勝3位で惜しくも決勝進出を逃したが、渡会元貴君(田原陸上ク)が5年生男子100m決勝に進出し、第7位に入賞した。

男子ソフトボール投では、沢田拓也君(豊川陸上ク)が、東三新記録で堂々の6位入賞を果たした。東三選手団の歓声が響く中、この大会で全国小学生陸上競技指導者表彰(安藤百福賞)が服部清氏(豊橋陸上ク)に授与され、喜びの日であった。

今年目標である佐賀インターハイには、東三河として久し振りに22名の選手団を送り出し、各選手はハードル、中長距離、競歩、リレー競技に、全国の選手を相手に健闘した。

苦戦をしいられた中学生も、全日本中学校陸上に6名の選手を送ることができ、指導者の先生方もホッとしている。7月には高校一年生大会が開催され、8月に入り、地元を中心にした市民陸上(豊橋・田原)、市内小学生陸上、中

学総体、小学生から一般まで多くの選手が陸上競技を楽しんだ。陸上競技会での変化の一つは、観客の動員によりスタンドが賑やかになったことである。多くの友人、保護者、おじいちゃん、おばあちゃんまで競技を楽しんでいる姿は、陸上界としても大変よいことである。

8/25(土)に、日本陸連主催の小学生陸上競技教室(豊橋会場)が開催された。参加者の募集、アシスタント指導者の依頼、会場、使用器具の準備、名簿とプログラム作成、指導者と保護者を対象にした「スポーツと栄養」講座を開設し、準備に忙しい日々を送っている。

9月に入り、競技会もベストシーズンを迎え、自己新記録を目指して、練習に励んでいる風景が見られる。一方、大会の役員は、駅伝、マラソンシーズンに向けて運営委員会を立ち上げ、多忙の日々を送っている。(牧田 功)

専門委員会報告

総務委員会

上半期を振り返って

19年度も猛暑の夏が終わろうとしています。東海中学総体をはじめ県選手権大会等、愛知陸協として数多くの競

ホープさん②

三輪将之くん 中京大中京高1年



優勝しました!(県選リレー)

6月の東海高校総体100m(10.68)で優勝した三輪将之は、43年ぶりの東海最速1年生スプリンターとしてデビューした。

名古屋市立天神山中学時代から注目された選手であったが、全日中では準決勝落ち、ジュニアオリンピックは予選落ちと全国的には無名の存在が今年度前期、将来を期待させるスプリンターに変身した。

全国高校総体予選は、組1位通過(10.86(-1.5))。「予選で最もいい動きをしていた選手」と法政大学荏部コーチからサブトラックで賞賛の言葉をもらった。台風の影響を受け競技時間が大幅に遅れた準決勝(10.79)では経験のなさが露呈してしまい、念願の決勝進出はならなかった。しかし、力の根源となる加速力は、彼の将来を十分期待できるものである。

彼の特長は踏み出しの一步目からの加速力にある。100m走で最も重要な区間は、速度ゼロの「用意」姿勢からの急加速区間にある。この急加速区間であるスタートから10mの立ち上がりが非常にいい。この区間は、パワーに優れている選手は一樣に速い。しかし筋の出力のみに任せた急加速だけでは、出力の低下と共に加速力は減少する。このとき、接地のタイミングに合わせた身体軸の移動技術によって加速の上昇が可能になる。身体軸と接地の位置関係を考察すると、スタートから数歩の接地は身体軸の延長線上に接地するよりも、やや外側接地の方がパワーを生みやすい。スピードスケートのスタートに見られる接地例である。スプリント技術の大幅な変革の礎となった東京世界陸上で、

日本人選手とカール・ルイスの動作分析を研究報告した大阪体育大学の伊藤章先生から聞いたことであるが、世界レベルの100mの選手は、外方向に接地しながら加速している傾向を示しているようだ。彼の場合も、この技術を用いることにより優れた加速力が生まれ、現在までの好成績に影響していると推察できる。(レース中の50m通過のベストは10.65(+2.7)をマークしたときの5.49(手時計))

その他の彼の記録の上昇の要因は、加速期から等速期へのピックアップ動作が非常によくなった点である。県総体名南支部予選で初めて10秒台をマーク(10.93)。県高校総体以降、11レース全てにおいて10秒台で走っている。(平均10.75)。

記録の安定化はスプリント動作の学習効果と考えられるが、反面、動きがステレオタイプ化する危険をはらんでいる。俗に言われる「動きが固まる」ことであり、ジュニアの選手にとって望ましいことではない。そのため、本人の特長を生かす指導が重要であると考えている。

ジュニア期における大幅な記録上昇は、骨年齢と筋量の関係が関与することを示す先行研究から考察すると、彼の記録上昇に関しては慎重に検証する必要がある。ジュニア期はトレーニングの成果よりもホルモンの作用が記録に影響を及ぼす時期であり、早熟型で骨年齢より骨年齢が上回っている選手は成果を出しやすい傾向が見られる。彼が1年生で記録を出している理由のひとつとして、早熟の部類に入る選手であることは間違いない事実である。現状の記録を今後更新していくためには、練習方法や技術改善の点でかなり試行錯誤しなければならない。

この8月、愛知陸協のジュニア派遣行事で、彼は大阪世界選手権を観戦する機会に恵まれた。彼自身が現地で捉えた感覚は得がたいものであると思われる。世界選手権、オリンピックのトラックに日の丸を付けて立てる日を夢見て、今後の練習に精進してもらいたい。

(北村 肇)

技会を運営してきましたが、大きなトラブルもなく順調に5ヶ月が過ぎました。各委員会や審判員の皆さんに感謝しています。

さて、上半期の登録者数が昨年に比べ増えています。各支部担当者よりナンバーカードの追加注文が相次いでおり、中学生を筆頭に高校生および一般の競技者人口の増加は、愛知陸協として大変喜ばしい限りです。

ところで、今年度、日本陸上界最大のイベントは世界陸上選手権大阪大会です。愛知陸協では全額協会負担でバス3台に分乗し、出席日数の多い審判員97名と中・高生で全国総体や全日中で活躍した選手44名を1泊2日の日程で観戦・視察をしました。支部審判委員会および県強化委員会にて人選をさせていただきました。世界のトップアスリートを直に観戦することで、競技者・審判員として意識の高揚が図れました。大会に出場した本県選手は、男子ハンマー投6位の室伏広治選手をはじめ、110mHの内藤真人選手、3000mSCの岩水嘉孝選手、女子円盤投の室伏由佳選手、七種の中田有紀選手でした。(稲垣 裕)

競技・情報処理委員会

前半のT&Fの競技会については、各加入団体の協力のもとに申込み受付からプログラム編成、大会運営と滞りなく終わることができました。今年度から郵便振替による大会参加料等の納入についても、4月当初は支部大会の振込み、登録口座への振込み等がいくつかありましたが、この参加料納入方法は好評で順調に進んでいます。

大会参加料等は郵便振替で納入後、要覧の大会参加料等払込受領証添付用紙にコピーを貼付し必要事項を記入し、申込用紙(書類)に同封して郵送してください。

口座番号 00870-0-100852

加入者名 愛知陸上競技協会

振込用紙記載事項 大会名 加入団体名

を必ず明記してください。来年度に向けては、今年度の反省をもとに申込方法の改善に取り組みます。

今後とも、大会の申込期日、申込方法等の厳守をお願いします。参加標準記録がある大会は、記録の確認(追風は2.0m以内)、登録番号等を正確に記入してください。競技会並びにロードレース、駅伝競走大会の申込みについてはよろしく願います。

愛知陸協のホームページに、愛知陸協要覧記載の大会のタイムテーブル、競技注意事項を掲載しています。また、瑞穂で開催した大会の決勝記録等の掲載もしています。

(外山 幸男)

施設・用器具委員会

I. 「公認陸上競技場および長距離競走路ならびに競歩路規程」の改定施行(2007.4.1)における愛知に係するものについて

(1) 「第1種陸上競技場の補助競技場は第3種陸上競技場とする。また、舗装材及び硬度は、主競技場と同一とする」

* 瑞穂陸上競技場は本陸と北陸で同一でないで、継続検定に向けて、予算化が大変であるので、名古屋市で検討してもらっている最中である。

(2) 「第3種陸上競技場は1周400mで、すべて全天候舗装の施設を要するものとする」

* 県選手権レベルの競技会開催が可能になるので、写真判定装置等の充実した施設の設置を希望します。

①一宮総合運動場陸上競技場は、2009年に向けて全天候舗装と全面改修が計画されています。その基本・実施設計の計画について、第1回打合せ会議が7月24日に開催されました。出席者陸協(国分・青木)尾張支部(高田・小椋・原川・岡田・萬谷)愛知県(公共建築課、一宮総合運動場)設計業者等

瑞穂公園陸上競技場納品希望備品 ~全国大会開催および次回検定に向けて~

平成19年7月29日 愛知陸協施設用器具委員会

No.	品目	必要数	現有数	該当商品名	購入数	備考
1	円盤(1.75kg)	12枚	2枚	NISHI F334「円盤 スーパー HM 1.75kg」 NISHI F304B「円盤 スーパー 1.75kg」	5枚 5枚	2008年にルール改正、北陸にも
2	砲丸(5kg)	12個	8個	NISHI F292B「砲丸 5.0kg 鉄製」	4個	2006年にルール改正
3	やり(600g)	12本	18本	NISHI F454F「やり ミディアム DR 50m」	3本	
4	ビーチパラソル	15本	18本	NISHI F3301A「ビーチパラソル」 NISHI F3301C「ビーチパラソルベース」	5本 5個	
5	粘土金具			NISHI F1407「粘土金具 ステンレス製」	1枚	粘土加工用アイテム
6	距離測定器	2台	2台	NISHI MS531「走幅跳・三段跳距離測定器 KGII」	2台	電気式測定器、本体のみ
7	監察員用腰掛	50脚	56脚	NISHI F3235「監察員用腰掛」	20脚	かなり劣化しているため
8	手旗	40本	53本	NISHI F3102B「手旗 黄」	40本	かなり劣化しているため
9	手旗	4本	0本	NISHI F3103B「スタート係手旗 緑」	4本	4月に要請済
10	走高跳用マット	2組	2枚	NISHI F521-06「走高跳用上面マット F501用」	2枚	上面のみ
11	スピーカーステーション			CLEAR-COM KB-111A「SPEAKER STATION」	5台	インカム用、同等品で可
12	ハードル	95台	89台	NISHI F101「スーパーライト」	50台	前の型に統一を
13	リボンロッド	3個	5個	NISHI F3012「リボンロッド 50m」	2個	目盛が認識できなくなってきたので
14	棒高跳用マット	2組	2組	NISHI F511-06「棒高跳用マット」	1組	アップライトマーク入
15	棒高跳用支柱およびパー止	2組	2組	NISHI MS520B「電動式棒高支柱 YD」	1組	電動式に更新
16	ハイビジョンカメラ			松下電器	2台	写真判定室下、南側ゲートの取替
17	風速計	5台	9台	NISHI MS222T「超音波風速計」	3台	3月に要請済
18	フィールド競技制限時間告知器	6台	6台	NISHI MS158A「デジタルフィールド制限タイマー CV」	5台	3月に要請済
19	風力速報表示器	3台	4台	NISHI MS820「電子式風力速報表示盤 両面表示」	2台	3月に要請済
20	取材エリア表示具	1式		NISHI F3229「取材エリア表示 J ポール」	20組	3月に要請済

- ②蒲郡陸上競技場は、2007年度に継続更新であるが、第3種の新条件(全天候舗装)に適合していない。経過措置として今回に限り第3種が認められた。5年後には、全天候舗装にするか第4種に降格するか検討が必要になる。
- (3)「公認陸上競技場の種類：第4種と第5種を統合し4種類とする」
*中京女子大学陸上競技場(第5種から第4種へ)
- (4)「室内棒高跳場の公認料を26,250円とし、公認期間は5年とする」
*中京大学室内棒高跳場
- (5)「第1種陸上競技場にのみ認められる付帯投てき場の公認料を26,250円とする」
*中京大学投てき場
- (6)競技用器具の改定(2008年度より)
*高校男子円盤の重量1.75kg(ジュニア規格)
1種(12枚) 2種(8枚) 3種(4枚) 4種(2枚)
- II. 全国大会(レディース陸上・マスターズ陸上)に向けての器具関係整備要望について
瑞穂陸上競技場(本陸)継続検定に向けての予算要望をまとめ、名古屋市に7月末に提出しました。今後は、ヒアリングと詰めの段階になります。(青木 実)

審判委員会

日頃は、各競技会の審判業務にご協力いただき感謝しています。先の審判調査では皆様にご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。今後ミスがないように頑張っていきたいと思っております。

平成19年度の競技会も半ばを過ぎ、秋季大会から駅伝、マラソンシーズンへと移行してまいります。審判員の皆様には休みもなくご協力をいただくこととなりますが、よろしくお祈りいたします。

今年度のB級審判資格取得講習会を5月に行ないましたが、その後資格を取りたいという女性が多く出てきました。来年のレディース陸上(全国大会)を控えていることもあり、10月28日(日)B級審判資格講習会を臨時に行ないます。審判員の方々の後輩や教え子等に声をかけていただき、公認審判資格を取っていただくことを願っています。詳細が決まりましたら、競技会の時に案内をします。

この冬には、競歩部会と協力して、競歩の審判講習会も計画しています。多くの審判の方へ出席していただき、審判技術を身につけてください。

前回に続いて再度お願いします。審判調査はがきを必ず出してください。都合がつかず欠席が多くてもかまいません。返信は現在多い支部で3分の2程度、少ない支部では2分の1以下です。多くの費用がかかっていること、審判編成に苦慮している現状を理解してください。

是非、審判員の方々の力をお借りして、今後も各種競技会が進められることを願っています。(榊原 茂)

選手強化委員会

平成19年度秋田国民体育大会陸上競技愛知県代表選手団が理事会で承認されました。

団体選手決定の概略を報告させていただきます。

成年選手は日本選手権の結果を重視して日本ランキング

上位者から選考し、リレー要員選手は県選手権の結果で選考しました。内藤、杉本、中田選手は世界選手権大阪大会代表選手であります。女子やり投の石田選手は教員枠選手と女子監督兼任です。

少年A、共通選手は全国高校総体の入賞者を優先して選出し、準決勝、決勝進出者、ランキング上位者から入賞の可能性の高い選手及びリレー要員を決定しました。

少年B選手については指定の選考会の結果を過去の国体入賞記録と照会して決定しました。

リレーを含む全ての選手が入賞の可能性があり、本年も陸上愛知の力を示すことができる選手団であります。これら選手が愛知代表に成長するまでには、多くの関係者の指導があったことを選手、コーチ共々認識して競技していきますので、ご声援よろしくお祈りいたします。

秋田団体県代表選手

種別	種目	氏名	所属	選考競技成績
成年男子	100m*	石黒 遼人	中京大ク	日本選手権準決勝
	リレー*	加藤 広大	中京大	県選手権優勝
	3000障害	加藤 聡	トヨタ自動車	日本選手権4位
	10000mw	杉本 明洋	ALSOK	日本選手権3位
	110mH*	内藤 真人	ミズノ	日本選手権優勝
	400mH*	千葉 佳裕	トヨタ紡織	日本選手権7位
	棒高跳	有木 健人	ハート&ハート	日本選手権6位
成年女子	ハンマー投	久保 浩司	中京大	日本選手権10位
	100m*	河原崎可央里	日体大	県選手権優勝
	リレー*	渡邊有紀子	中京女大	県選手権2位
	100mH*	山崎由加里	さかえクリニック	日本選手権6位
	走高跳	日高 里子	トヨタ自動車	日本選手権9位
	走幅跳	中田 有紀	日本保育サービス	日本選手権5位
	やり投	石田 桂	平坂中教	教員枠/県選4位
少年A男子	100m*	鈴木 大介	名古屋大谷	IH200m5位
	400m*	恩田 健人	惟信	高校ランク8位
	800m	栗津 良介	愛工大名電	IH優勝
	5000m	三田 裕介	豊川工	IH4位
	やり投	土田 基由	至学館	高校ランク9位
少年A女子	100m*	今井沙緒里	至学館	IH準決勝
	400m*	柘植 早織	至学館	IH5位
	1500m	奥田和佳奈	豊川工	IH決勝15位
	400mH*	石田 朋美	名城大附	IH準決勝
	円盤投	加藤 千枝	至学館	IH決勝14位
少年B男子	200m*	三輪 将之	中京大中京	10.68/21.67
	110mJH*	小久保翔太	成章	14.83/県選6位15.02
	円盤投	杵本 皓貴	名古屋	43m46
少年B女子	200m*	近藤 里佳	千種中	12.50/25.78
	800m	鈴木亜由子	時習館	2.12.25
	3000mw	前川 知美	岡崎商	17.35.20
	100mYH*	近藤 友美	中京大中京	14.38
少年共通男子	5000mw	鈴木 基文	豊川工	IH4位
	走高跳	舟瀬 勇太	中京大中京	IH10位
女子	走高跳	河澄 真子	岡崎城西	IH4位

*リレー登録選手

(北村 肇)

記録委員会

トラックシーズンも主要な競技会が終わり、秋の新人大会を中心とした競技会へ折り返しの頃です。

日本陸連への記録公認申請も、各支部記録委員長はじめ各大会の記録担当委員の協力により順調に進んでいます。

以前から年度途中の愛知県新記録の扱いに曖昧な点がありました。検討して以下のように取り扱います。(理事会提案済み)

- 1 日本陸上競技連盟、日本実業団陸上競技連合、日本学生陸上競技連合の主催による競技会、愛知陸上競技選手権大会、東海陸上競技選手権大会、中部実業団対抗陸上競技大会に於いて樹立した新記録(タイ)の記録を認め、直近の理事会へ報告する。
- 2 上記1以外には次による。
 - ① 県内の競技会については、愛知陸上競技協会(記録委員会)への報告があった後、直近の理事会に報告し承認を得る。
 - ② 県外の競技会については、競技者からの記録証明書による報告が原則ですが、愛知陸上競技協会(記録委員会)がその記録を確認した後、直近の理事会に報告し承認を得る。
 - ③ 日本陸上競技連盟が日本新記録として公認した記録が愛知県新記録(タイ)のとき、その記録を認め、直近の理事会へ報告する。

以上のように扱います。

上半期における日本新記録(日本陸連公認)・愛知県新記録(タイ)を記載します。

日本新記録・愛知県新記録

女子円盤投

58m00 室伏由佳(ミズノ)

梅村学園記録会(中京大)4月1日

58m62 室伏由佳(ミズノ)

中部実業団対抗(長良川)5月13日

室内日本記録

女子五種競技

4073点 中田有紀(日本保育サービス)

60mH・走高跳・砲丸投・走幅跳・800m

(8.69・1.69・11.61・5.82・2.21.34)

ドイツ室内混成(カルパッハ)1月28日

愛知県新記録

男子110mH

13秒43 内藤真人(ミズノ)

東日本実業団対抗(熊谷)5月19日

愛知県タイ記録

男子棒高跳

5m40 有木健人(ハート&ハート)

日体大棒高跳競技会(日体大)4月15日

国際グランプリ大阪(長居)5月5日

愛知県高校新記録

女子1500m

4分22秒11 鈴木亜由子(時習館高)

東海高校総体(袋井)6月15日

愛知県中学新記録

女子4×100mR

49秒11 長良中

(梅村かや乃・森佑紀那・山田恵理・稲富ゆい)

愛知選手権リレー(瑞穂)7月7日

(岡田 武彦)

クラブ紹介② やかた 館倶楽部

「こころを繋ぐ響走を！」

館倶楽部の発足は、安城市住吉町にある「喫茶店 館」に集まる仲間と、平成5年11月に地元安城市で開催される「安城市民駅伝」参加の為に10名程で走りはじめたのがきっかけです。その後、メンバーが各地での市民マラソン大会で知り合った仲間が仲間を呼んで「名岐駅伝を走ろう」の合い言葉で陸協登録(創部14年目、陸協登録8年目)するまでになり、活動しています。現在、メンバーは18才から70才までと幅広い人たち50数名で構成されています。その中でも陸協登録者47名、審判登録者も6名を数えるようになりました。全員が陸上競技を愛する人たちばかりの集団です。

初めのうちは先輩格の他の同好会等の練習会に参加させていただき、レベルアップを図ってきましたが、近頃ではメンバー数も増え、刈谷市内でグラウンドを借りて週2回(火・木)午後7時頃より練習を重ねています。

トラックシーズン、マラソン、駅伝などのレースに応じてインターバル走、ペース走など。また、週末には走り込み、クロスカントリー走などを三好池の各コースで行なっています。

選手の中には、マラソン2時間20分台で日比野賞優勝者、名古屋を始め各種国際女子マラソンの参加基準記録をクリアしたサブスリーランナーがいます。また、各種大会での優勝、入賞と冴えたるものがあります。それらも、館倶楽部での練習会などお互いに切磋琢磨し培われてきた結果と思われまます。

また、親睦会を兼ねて参加する各種イベントでは大変盛り上がり、倶楽部仲間の意識の高揚を図っています。倶楽部の最大目標でもあり、ここ中京地区の最大イベントであります「名岐駅伝」は倶楽部員全員が一丸となって取り組み、「10位入賞」と大きな目標を目指して頑張っています。それが「こころを繋ぐ響走」となれば自ずと結果はついて来ることを信じて、名岐駅伝後の慰労会を楽しみにしています。また、慰労会では家族も含めアットホームで大変な盛り上がりようです。走ることによっていろいろ楽しみたい人、館へ集まれ!!

(川辺美和子)



男女とも優勝したよ! (「片山右京」6時間リレーマラソンにて)

事務局「喫茶 館」(0566-97-8328)

女性委員会

上半期の活動等について

女性委員会では、次のような活動を行いました。

- ①第1回女性委員会会議 (5月13日)
 - ・平成19年度活動計画について
 - ・委員会メンバーについて
 - ・その他
- ②第26回レディース陸上競技大会準備作業
 - ・大会要項(案)の見直し
 - ・日本陸連へ大会開催申請書の再提出
(日本陸連理事会において開催正式決定)
 - ・大会後援申請書作成・提出
(愛知県・県教育委員会・県体育協会)
 - ・大会共催申請書作成・提出
(中日新聞社・名古屋市・名古屋市教育委員会)
 - ・大会ポスターの原案検討
 - ・女性審判員アンケート調査(別記報告)
 - ・瑞穂陸上競技場の施設、用器具補充を依頼(各審判部署から聞き取り調査を実施し、まとめたものを施設用器具委員長に提出)
 - ・B級公認審判員資格取得講習会の臨時開講を審判委員会へ依頼(10月28日開講決定)
- ③第2回女性委員会会議(6月27日)
 - ・第4回愛知レディース陸上競技大会のプログラム編成、資格審査
- ④第4回愛知レディース陸上競技大会(7月7日・瑞穂陸上競技場)別記報告
- ⑤平成19年度全国女性委員会会議への出席(7月7日・8日・岸記念体育館会議室)別記報告

第4回愛知レディース陸上競技大会 女性審判員アンケート集計結果

大会に参加されました女性審判員を対象にアンケート調査を実施しました。その結果35名の方から回答をいただき、下記のような集計結果が出ましたので報告します。
審判資格 S級2名・A級8名・B級23名・資格なし1名・無回答1名

- 1 本日の担当は何でしたか。(○をつけてください)
番組編成1名・アナウンサー1名・記録2名・情報処理2名・場内司令2名・競技者4名・役員1名・庶務3名・表彰1名・風力3名・写判周回3名・監察1名・スターター3名・出発2名・跳躍2名・投てき4名 電光掲示は該当者なし
- 2 仕事内容は分かりましたか。(○をつけて下さい)
分かった22名・ほぼ分かった11名・まだよく分からない1名・無回答1名
- 3 来年以降の愛知レディース陸上も審判員として協力していただけますか。(○をつけてください)
協力できる20名・都合が付けば協力しても良い15名・協力できない0名
- 4 3で「協力できる」「協力しても良い」と答えた方にお尋ねします。希望の部署は何ですか。(○をつけてください。複数回答OK)
番組編成3名・アナウンサー5名・記録7名・情報処理1名・場内司令2名・競技者6名・役員5名・庶務4名・表彰1名・風力3名・写判周回1名・監

- 察2名・スターター4名・出発3名・投てき4名・何でも良い1名 跳躍・電光掲示は希望者なし
- 5 来年<平成20年10月19日(日)予定>に開催する第26回レディース陸上競技大会について
 - (1) 審判をお願いできますか。(○をつけてください)
協力できる14名・都合が付けば協力しても良い17名・協力できない0名・無回答4名
 - (2) (1)で「協力できる」「協力しても良い」と答えた方にお尋ねします。希望の部署は何ですか。(○をつけてください。複数回答OK)
番組編成3名・アナウンサー4名・記録5名・情報処理1名・場内司令1名・競技者5名・役員3名・庶務3名・表彰1名・風力2名・写判周回3名・監察2名・スターター4名・出発2名・投てき3名・競歩1名・ドーピング1名・何でも良い1名 跳躍・電光掲示・ウォームアップ・用器具・光波計測・報道・補助員は希望者なし
 - (3) 実行委員のメンバーとして、大会当日以外に手伝いをお願いできますか。(○をつけて下さい)
協力できる7名・依頼があれば協力する4名・仕事内容や頻度によっては協力できるかもしれない10名・協力できない6名・無回答8名
 - (4) (3)で「協力できる」「依頼があれば協力する」「協力できるかもしれない」と答えた方にお尋ねします。協力したい委員会は何ですか。(○をつけて下さい)
総務2名・競技2名・審判3名・情報処理1名・何でも良い2名 記録報道・施設用器具・宿泊接伴・医事は希望者なし
- 6 女性委員会・愛知レディース陸上・第26回レディース陸上競技大会について要望等がありましたらご記入ください。
 - ・仕事と折り合いがつかず、迷惑をかけるができるだけ協力する。
 - ・情報機器(リアルタイムでインターネットの情報更新)の充実。
 - ・服装等をきちんと指導してほしい。
 - ・ツバの大きな帽子があると良い。

まとめ

このアンケート結果から、レディース陸上競技大会(全国大会)を来年に控え、女性審判員の意識の向上を実感しました。今後、これをもとにして実行委員会の立ち上げ等全国大会の準備を進めていきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

平成19年度 全国女性委員会報告

この会議は、日本陸連女性委員会の主催で、毎年7月第2土曜日・日曜日に開催されています。本年も全国から50名程が出席して、下記の内容で開催されました。

- 1 日時 7月7日(土)13時~16時50分
7月8日(日)9時~12時
- 2 会場 岸記念体育館 504・505会議室
- 3 会議内容

<第1日目>

- 挨拶 山崎壽美子 日本陸連女性委員長
曾根 幹子 日本陸連理事

役員改選で、有森裕子さんとともに理事になった。協力

していきたいと挨拶された。

●報告1 山崎壽美子 日本陸連女性委員長

資料に沿って、委員会の活動状況・平成19年度の活動計画・組織メンバー・第24回レディース陸上競技大会などの報告がされた。

●報告2 竹林 幸江 広島陸協

「第24回レディース陸上競技大会の報告」と「第25回レディース陸上競技大会の開催」について

第24回大会では競技場のコンディションを考慮し、ピットの変更や逆走を行なった競技運営の様子が説明された。今年度開催する第25回大会については、ポスターの原案を作成中であることなど、準備状況が説明された。

●分科会 第1分科会「指導者としてのスキル」

尾縣 貢 日本陸連強化委員会副委員長
司会 西盛 康子 兵庫 陸協

第2分科会「競技運営についてのスキル」

鈴木 一弘 日本陸連競技運営委員会審判部長
司会 大山真由美 宮崎 陸協

出席者は、どちらかの分科会を選択し参加した。「競技運営についてのスキル」は、世界陸上大阪大会の運営を例にあげて説明された。大阪大会には、イベントプレゼンテーション担当がおり、競技会をコントロールする。効果音等を適切に使い、競技場を劇場に見立てて競技会を作る。表彰には、エスコート役を付ける。他の地域・規模の大会でも同様に、観客を飽きさせないで集中させる工夫が必要であるとのことであった。

●地域別情報交換 東海4県の各出席者・長野は欠席

司会 中村早由里 三重陸協

各県の現状を報告。東海選手権大会時に、東海女性委員長会議を開催することを決定した。

<第2日目>

●講演1 佐々木裕子 岩手陸協「陸上競技と学校運営」

スクールバスで登下校する生徒の運動不足解消のために、有住中学校で行われている放課後の全校トレーニングの様子が説明された。

●講演2 八鍬美由紀(株)パソナ「スポーツ選手のセカンドキャリア」

競技以外の様々な場面で活躍できる人材を輩出していく。そのためには、現役時代から生涯に渡っての生き方を考えていくことが大切であるとのことであった。

4 その他

「第24回レディース陸上競技大会の報告」で使用したDVDについて、コピーを頂いたので、皆さんに視聴し参考にさせていただきたいと考えています。

会議の最後に、第26回レディース陸上競技大会の愛知開催が正式に決定したことを報告し、ご協力をお願いした。出席者から暖かい激励の言葉を頂き、大変に心強く感じた。

この会議の詳細は、日本陸連女性委員会のホームページをご覧ください。(脇田 千鶴)

7月14日 愛知県中学校選抜混成競技大会

7月16日 全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
男子347名、女子295名の参加

7月29日 愛知県中学校総合体育大会陸上競技大会
男子897名、女子742名の参加

8月11日 東海中学校総合体育大会陸上競技大会
男子160名、女子123名の参加

8月20日 全日本中学校陸上競技選手権大会
～23日 男子30名、女子23名の参加

各大会の成果

◎混成

本年度は全般に低調な結果に終わり、全日本中学校陸上競技選手権大会には一人も参加することができなかった。

◎通信大会

本年度は天候に恵まれ、短距離を始め全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録を突破する選手が多く、特に短距離系ではどの学年においても好記録が続出した。

この大会だけでも30名を超える選手が全国大会出場の切符を手にした。

◎県総体

通信大会に引き続き、天候に恵まれ、この日も全日本中学校陸上競技選手権大会の参加標準記録を破る記録が数多く出た。また、この大会の上位6名は東海中学校総合体育大会に参加した。

◎東海総体

男子では短距離種目を中心とした選手の活躍が目立った。特に100mでは決勝の半分が愛知県勢で上位を独占した。女子でもどの種目もまんべんなく結果を残すことができた。

◎全国大会

今回は鈴木亜由子選手のような絶対的な存在の選手はいなかったが、ランキングで見ると上位選手が目立ち、その中でも1年女子の森佑紀那選手は新しいスターの誕生を思わせるようであった。結果は予選大会で好調であった短距離陣が思ったように記録が出せなかったことや、今年は特にレベルが高く例年の優勝記録でも準決勝を通過できないなど思わぬ展開であった。その中でも先に紹介した1年生森佑紀那選手の100m・リレーでの活躍が注目された。来年以降の活躍が期待される。

◎総評

全般を通して世代交代の中で新しい力が芽吹いているようだ。秋また来年に向けて明るい材料が多いので、ここからの練習により一段上の力を身につけ、今後に結びつけていってほしい。

秋には、横浜でジュニアオリンピックが行なわれる。夏の疲れをとり、リフレッシュした身体でこの大会に向かってほしい。各選手が力を出し切れれば、個人種目にしても、リレーでも好記録が予想される。特にリレーでは、男女とも表彰台の一番高い位置を十分にねらえるメンバーがそろっているので楽しみである。(秋田 明憲)

高体連

全国高校総体報告

8月2日(木)から6日(月)までの5日間、佐賀県総合運動場陸上競技場において、第60回全国高等学校陸上競技対校選手権大会が開催されました。今年はテレビの台風状況で、競技場のテントが飛ばされ、役員にぶつかり、

関係団体報告

中体連

夏季中体連の大会

7月8日 愛知県混成競技会

男子400mのランナーがあわててよけるといったシーンが何度も映し出されたとおり、初日は台風5号の影響で競技を中断し翌日に延期をしたり、2日目は雷・集中豪雨・竜巻等が次から次へと襲い掛かり、中断に次ぐ中断を余儀なくされたのと、1日目の競技を2日目にまわした影響で、競技の終了が夜の10時20分という、前代未聞の大会となりました。

一番気の毒だったのは、男子8種競技の選手で、1日目の4種目中最後の1種目(400m)を消化できず、2日目にまわしたため、記録が公認されず参考記録となってしまいました。そのほか、男子棒高跳は予定より2日も遅れたり、男子円盤投は予選をなくし、66人が一発決勝になったり、夜の9時~10時頃に男女4×100mリレーの予選を走ったチームが、翌日の朝9時20分から準決勝を走ったり、男子5000m競歩予選はどしゃ降りの雨の中で競技をしたり、女子1500m決勝は直前に2時間も待たされたり等等、ほかにも数えればきりがなほど選手・監督・役員が天候に振り回された大会でした。

そんな中で、100名を越す大人数(全国で参加人数が100名を超える都道府県は、北海道を除いて3県しかありません)の愛知県選手はよく頑張り、男子800mでは愛工大名電の栗津良介選手が優勝したほか、男女合わせて11種目18名の選手が入賞しました。また、今回参加した選手の中には、1・2年生の選手が結構多く含まれており、来年の埼玉総体でもかなり期待が持てると思います。(今回の佐賀総体の結果及び静岡で行なわれた東海総体の結果については別表を参照してください) (大島 修)

高体連定時制通信制

<上半期を振り返って>

6月17日(日)県定通総体兼全国大会選手選考会が知多運動公園陸上競技場で行なわれた。3位以内に入賞し、且つ全国大会参加標準記録を上回ることが、全国大会に出場する必要条件である。選手も顧問もこの2つの条件を目指してきている。今年は男子の100m・200mが特に激戦であった。また、男子5000mでは、昨年全国大会に出場した3年生を1年生2人が破るといふ波乱もあった。総合成績は、男子は科技高刈谷が7年連続、女子は豊橋が3年連続と連勝を伸ばした。全国大会のキップは47名の選手が勝ち取った。

8月4日(土)強化練習会が行なわれた。この日から県総体でのライバルが県選手団として一つにまとまった。それは定通の全国大会が都道府県対抗で行なわれるからである。種目ごとの練習とリレーメンバーの最終選考が行なわれた。前次憲男子監督・有路義敦女子監督から、今年は男女総合優勝を目指すとの力強い宣言が聞かれた。

(松橋 政人)

学連

本学連の上半期強化関連事業日程は、春季記録会・東海IC・日本IC・全日本大学駅伝選考会等であります。個々の大会について説明は省略し、主要なものについて報告を含め、若干の補足説明をします。

ユニバーシアード代表に西川生夏選手が選出される

学生競技者にとって最高の大会である日本学生陸上競技対校選手権大会(日本IC)が6月8~10日までの3日間、

国立競技場を中心に開催されました。

競技結果は、中京大が女子総合3位を獲得、個人では、山城、武川、奥選手(中京大)がハンマー投1、2、3位を独占、早川選手(中京大)が走幅跳と七種の2種目優勝、西川選手(名城大)が5000m4位、10000m2位、男子は、走高跳で萩原選手(中京大)が3位に入賞したのが最高で、女子に比べると少し勢いがなかったのが残念でした。

大会終了までの結果をふまえて、代表に西川生夏選手が選出されました。この種目でのメダル獲得の可能性がもっとも高い選手と期待されています。役員として米田先生(名城大)が選出されました。インカレの結果などにつきましては、<http://www.iuau.jp/>を参照ください。

全日本大学駅伝大会に代表3チームが選出される

東海地区選考会が6月16日瑞穂北競技場で行なわれ2校と選抜メンバーが決定されました。

今年は開催時期を9月から繰り上げ、レース方式もロードでの駅伝からトラック10000mのタイムレースに変更した。代表枠が1増の2校になって各大学のモチベーションも高まり、盛況のうちに四日市大、4年ぶり13度目の愛工大が出場を決めました。結果は、<http://gold.jaic.org/jaic/tgrr/index.htm>を参照ください。

▲東海IC〈総合成績〉男子は中京大が53連勝、女子は中京大が5年連続45回目の優勝を飾る。

▲愛知六大学対校戦〈総合成績〉愛教大がアベック優勝。

▲第58回七大戦〈総合成績〉名古屋大がアベック優勝。

結果の詳細は、名古屋大HPを参照ください。

▲強化の目玉となるヨーロッパ遠征に、今回も7月中旬に2週間の予定で鈴木義敬選手(浜松大)を派遣しました。

※お知らせ:当学連に陸上競技に関する医・科学及び指導法の研究の推進と競技力向上を図る目的で医・科学・コーチング研究会を設立しました。陸上関係者、学生及びOBの参加を広く募っています。詳細は東海学連HP参照。

(安藤 好郎)

実業団

実業団主催の大会も、5月の中部実業団対抗陸上成功裡に終了した。シーズン後半は、中部連盟が当番として、岐阜で全日本実業団対抗陸上を9月に開催しました。愛知の実業団チームからも多数参加し、活躍しました。また、11月には、男女の中部実業団駅伝が開催されます。12月と1月の全国大会での好成績を目指して、さらに練習に拍車がかかる頃だと思います。

実業団陸上に微力ながらお手伝いさせていただくようになって、かれこれ4半世紀になります。中部連盟の組織でも大先輩の大坪勝則氏の次の在籍年数です。大坪氏には、大所高所からご指導いただき感謝しております。

近年、実業団のチーム事情も随分様変わりしました。たとえば、県内でも10数年前まではリレー種目を保有するチームが、10チーム以上は確実に存在していました。ところが、現状では片手でも余るくらいのチーム数です。当然、短距離・フィールド種目もかなり減ってきています。要因としては、企業の採用がバブル崩壊後極端に減ったことも上げられます。マラソン・駅伝ブームは否定しませんが、長距離種目も安閑としておれない状況を危惧しております。女子の長距離チームもピーク時に比べると、半減してきているのが現実です。

この現状を直視し、それぞれの立場で努力して改善していきたいものです。少し生意気な表現になりますが、選手としてはフルタイム勤務では競技ができないと聞きますが、そのような環境の中でも立派な成績を残している選手を数多く見えています。そういう選手に心からエールを送りたいと思います。(樋高 勇二)

マスターズ陸上

心豊かな長寿社会の実現への貢献役

上半期の恒例の事業として、5月20日(日)に愛知マスターズ陸上競技選手権をウェーブスタジアム刈谷で過去最高の203人の参加を得て開催しました。大会の結果は前号で報告しましたが、この大会は全国スポレク祭の選手選考会を兼ねています。

5月27日の愛知マスターズ理事会で監督の四戸光男以下36歳から76歳の選手20人が選考されました。種目別では短距離11、中長距離9、跳躍10、投擲8計38種目とリレー4種目にエントリーすることとなりました。

記録会は、年々参加者が増加しており、4月の第27回が実人員129人、5月の第28回が実人員173人、7月の第29回が実人員206人となり、こちらも200人を初めて超える盛会となりました。8月の第30回記念記録会は、実人員148人が参加し記録会終了後、抽選により18人の方に記念品を贈呈しました。

6月10日(日)滋賀県希望が丘文化公園特設コースで行われた全日本マスターズ駅伝では、男子5位、女子4位、エルダー9位となり、特に男子は各選手が大きなブレーキも無く、レース中盤まではトップが見える位置でレースができました。

愛知県チームも各年代県内トップ選手を揃えましたが、上位に来るチームはレベルの高い選手が揃っていますので、優勝を狙うには今一步のレベルアップが必要と感じました。

今年度の愛知マスターズ陸上競技連盟の当面する最大の懸案の、第30回全日本マスターズ陸上競技選手権大会の主管について、去る8月10日の愛知陸協理事会承認がされました。國分理事長を始めとする各理事の皆さんにご理解いただきましたことを、紙面をお借りして感謝とお礼を申し上げます。

この大会の開催については、日本マスターズ陸上競技連合と愛知マスターズ陸上競技連盟の間では承認されていましたが、愛知マスターズ陸上競技連盟単独では能力がありませんので、開催するためには愛知陸協の主管の承認が不可欠でした。この承認により実質的に開催が可能となりました。

本連盟は全力で取り組み、今後、全ての面で愛知陸協及び会員の皆さんのご支援ご協力をいただき、2009年の開催に向けて邁進したいと考えています。

第20回全国スポーツ・レクリエーション祭 愛知県代表選手 平成19年9月22日~25日 青森市 監督 四戸光男

番号	氏名	住所地	年齢クラス	出場種目	
1	玉置 久	名古屋市	M75	800m	3000m
2	杉山 茂生	新城市	M70	走高跳	三段跳
3	築瀬 文彦	豊田市	M70	60m	100m
4	瀬谷長三郎	豊橋市	M65	円盤投	
5	山田 博嗣	豊田市	M65	砲丸投	やり投
6	小山 眞一	尾張旭市	M65	800m	1500m
7	佐藤 武夫	稲沢市	M60	400m	三段跳

8	佐野 昭二	高浜市	M60	1500m	3000m
9	小田 美一	名古屋市	M60	100m	走幅跳
10	田中 英康	一宮市	M45	やり投	円盤投
11	竹之内敦史	春日井市	M45	走幅跳	走高跳
12	畠中 一起	豊川市	M45	100m	200m
13	加藤 智久	岡崎市	M40	走幅跳	三段跳
14	渡辺 実	一宮市	M40	100m	200m
15	加藤 敦子	豊川市	W60	円盤投	砲丸投
16	庄司タミ代	豊田市	W55	800m	3000m
17	宮崎 禄子	知立市	W50	100m	砲丸投
18	長尾 典子	岡崎市	W50	200m	800m
19	林 啓海	尾張旭市	W45	100m	走幅跳
20	津坂由希子	稲沢市	W35	走幅跳	

(佐野 昭二)

愛知陸協 OB 会

「平成19年、愛知陸協 OB 会総会・懇親会」

4名の新会員を含む62名の会員と瑞穂競技場福井管理課長はじめ、専門委員長など6名の来賓を迎え、総会・懇親会がラグビー場会議室で7月21日(土)愛知選手権1日目の競技終了後、盛大に開催された。

國分一郎世話人代表の挨拶に続き、予定の議案が原案通り承認された。

その後、寿杯規定により、米寿の岩本六四氏、喜寿の青木猛氏、星野長彦氏、安庭史應氏、古久根啓夫氏、藤井浩氏に各々祝品が贈られた。

続いて数馬公氏、手嶋文治氏、小島末広氏、岩瀬一氏の新会員が紹介され、OB会のバッジが贈呈され、総会が終了し、懇親会がスタートした。

翠忠明氏の乾杯の音頭で、冷たいビールと料理で大いに盛り上がり、楽しい一時を過ごし、本会の発展とお互いの健康を願い、川島虎雄氏の中締め(万才三唱)で閉会した。

(村瀬雄一郎)

競技会報告

第24回愛知県小学生リレー競走大会 兼第23回全国小学生リレー競走大会愛知県選考会 兼第24回東海小学生リレー競走大会愛知県選考会 名古屋市瑞穂公園陸上競技場平成19年6月16日

少年

種目	1位	2位	3位	
4×100m 全国・東海	田原陸上クラブ A 52.74 福井 和真 杉原 大智 穴井 祐樹 鈴木 淳生	安城ジュニア陸上クラブ 52.87 日高 丈貴 後藤 拓海 外山 達也 神谷 祐柱	片葩 AC A 52.93 田代 紘基 平林 卓磨 三好 航平 齋藤 健太	
	100m	掛川 真 12.57 JAC 大府 GR	鈴木 淳生 13.33 田原陸上ク	神谷 祐柱 13.55 安城 JAC
	5年生 100m	渡会 元貴 13.99 田原陸上ク	遠藤 侑汰 14.00 安城 JAC	中島 豪 14.29 作野 AC
	50m タイムレース	武田 真人 7.65 田原陸上ク	森下 翔太 7.67 新城	石田 雄真 7.74 JAC武豊
80mH (0.700m)	三浦 成皓 12.91 JAC 武豊	鶴飼 椋平 13.58 安城北部 AC	加藤 佑弥 13.77 安城桜林クラブ	
走高跳	平林 卓磨 1.45 片葩 AC	岡田 充弘 1.35 錦町陸上ク	坂本 翔太 1.30 安城北部 AC	
走幅跳	横地 秀春 4.86 千代田橋 AC	鳥居 凌太 4.59 岡崎 JAC	奥谷 卓音 4.52 へきなん	
ソフト ボール投	澤田 拓人 66.78 豊川陸上教室 GR	稲垣昇一郎 64.19 安城南部 AC GR	藤原 陸 52.68 梨の里	

4年走幅跳	神近 洋佑 3.84 JAC大府	石川 拓磨 3.79 JAC武豊	岩崎 悠利 3.76 へきなん
-------	---------------------	---------------------	--------------------

少女

種目	1位	2位	3位
4×100m 全国・東海	田原陸上クラブ A 54.00 三浦あずさ 武田 真歩 田口茉莉奈 谷口 美薫	豊橋陸上クラブ A 54.17 鈴木 香織 飯田 典子 加藤 凛 田中優梨亜	安城ジュニア陸上クラブ 54.36 酒井 美緒 樋口 百華 藤内 麻由 徳田 彩夏
100m	北野 有紀 13.66 十四山少年少女	谷口 美薫 13.92 田原陸上ク	加藤 凛 14.11 豊橋陸上ク
5年生 100m	鷺見 梓沙 14.20 JACとよあけ	稲葉 水保 14.63 小牧ジュニア	渡辺 真由 14.74 豊橋陸上ク
50m タイムレース	武山さくら 8.13 岡崎 JAC	掛川 栞 8.14 JAC大府	松本 扶弘 8.17 岡崎 JAC
80mH (0.700m)	萩原加奈子 13.77 豊橋陸上ク	林 沙希子 14.12 豊橋陸上ク	長谷部美沙 14.21 安城桜林クラブ
走高跳	飯田 典子 1.25 豊橋陸上ク	清島 晴香 1.25 なごや陸上ク	安藤 成美 1.20 作野AC
走幅跳	石川加奈子 4.83 半田 Jr.TC GR	神谷 美和 4.50 錦町陸上ク	三浦 和 4.29 岡崎 JAC
ソフト ボール投	竹内 由菜 47.92 なごや陸上ク	岡 千波 45.89 JAちた	加藤 愛望 41.44 安城南部 AC
4年生 走幅跳	鈴木 千陽 3.51 新城	橋本 美帆 3.39 千代田橋 AC	杉本 実優 3.19 なごや陸上ク

混合

種目	1位	2位	3位
4×100m 5年	田原陸上クラブ A 55.67 GR 真田 純奈 中尾真理子 山田 大貴 渡会 元貴	安城ジュニア陸上クラブ 55.76 GR 内藤 彩 河合 詩菜 兼子 拓巳 遠藤 侑汰	安城作野ACーA 57.18 牧野 りさ 大谷 莉穂 伊藤 拓真 中島 豪
4×100m 4年	豊橋陸上クラブA 61.73 村松 風香 奈良 朋世 高橋 宏暢 加藤 尚也	田原陸上クラブ 62.16 杉原 那奈 河合 志歩 木村 仁士 武田 真人	とよたAC 62.19 大山 稜華 椎葉 優 菅 舞人 安田 駿

2007 東海混成競技大会愛知大会
兼第 28 回愛知県混成競技大会
兼第 67 回愛知選手県大会 (500m・10000m・リレー)
 2007年7月7日・8日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

種目	1位	2位	3位	
東海 十種競技	二宮 聡 6675点 愛知・小島プレス	井上 将成 6623点 愛知・岡崎 TFC	林 雅紀 6507点 岐阜・中京大	
七種競技	渡邊 純子 4430点 岐阜・中京大	伊藤 綾夏 4008点 愛知・愛知教育大	野田亜希子 3592点 静岡・中京大	
愛知 十種競技	飯田 敦彦 6804点 小島プレス	二宮 聡 6675点 小島プレス	井上 将成 6623点 岡崎 TFC	
七種競技	伊藤 綾夏 4008点 愛知教育大	赤澤 祐美 3760点 刈谷北高	樋口 望 3150点 岡崎商高	
男子 四種競技	梅田 篤志 2054点 豊川南部中	林 伸悟 2024点 野田中	山口貴由樹 1947点 大府北中	
女子 四種競技	河合 彩音 2252点 杵掛中	近藤 董 2142点 杵掛中	宮田 美咲 2128点 乙川中	
選手権男子	5000m	猪子 和明 14.16.89 愛知製鋼	鷺見 知彦 14.18.02 トヨタ紡織	大関 喜幸 14.19.56 愛知製鋼
	10000m	中山慎二郎 30.11.75 トヨタ紡織	南谷 塁 30.20.89 愛知製鋼	鷺見 知彦 30.38.74 トヨタ紡織
	4×100m	中京大中高 40.84 三輪 将之 屋貝 博文 山崎 翔太 伴野 玲央	トヨタ自動車 40.88 中村 洋文 田中 星次 原 勇太	愛知学院大 40.93 山口 峰昌 金子 卓哉 伊藤 健志 岡田 健太
4×400m	中京大 3.17.08 服部 辰也	トヨタ自動車 3.17.22 大工 達也	愛知学院大 3.17.65 日下部智久	

		武田 輝 山田 昌邦 川崎 豪己	田中 星次 原 勇太 伸次	北岡 正寛 伊藤 東 哲久
選手権女子	5000m	二宮悠希乃 16.15.53 豊川高	加藤 麻美 16.36.23 豊川高	山元 美駒 16.48.10 椚山女学園大
	4×100m	中京女子大 46.89 愛敬 真尉 門奈 美和 尾関 朝美 渡邊有紀子	至学館高 47.52 花井 沙織 安藤由加里 柘植 早織 今井沙緒里	岡崎城西高 47.87 田村 舞衣 越 美彩子 服部まどか 市川 華奈
	4×400m	中京女子大 3.50.24 市村 真帆 増田 由菜 鷹羽 桃子 門奈 美和	至学館高 3.51.34 浜崎 真帆 安藤由加里 谷内 美彩 柘植 早織	愛知淑徳高 3.56.10 竹下 晴子 水口 小夜 福島 優 小林 愛実
団体男子	200m	三輪 将之 21.97 中京大中京高	山崎 翔太 22.72 中京大中京高	江本 英輝 23.04 岡崎城西高
	3000m	水野 眞治 8.47.64 豊川工高	正木 翔 8.58.33 豊川工高	近藤 尚紀 9.00.34 愛知高
	110mH (0.991m)	小久保翔太 14.83 成章高	三浦 豊成 15.52 名古屋高	成瀬 慎也 15.68 中京大中京高
	走幅跳	山崎 翔太 6.67 中京大中京高		
団体女子	円盤投 (1.500kg)	杵本 皓貴 43.46 名古屋高	柘植 洋平 39.67 愛工大名電高	
	200m	上岸みさき 25.94 名城大附属高	近藤 里佳 26.33 千種中	後藤 香奈 26.39 岡崎城西高
	800m	柴田 有里 2.18.55 成章高	伊澤菜々花 2.18.89 豊川高	西脇 春奈 2.22.64 豊川高
ジュニア男子	100mH (0.840m)	瀬木 翔平 16.44 桜井中	宮崎 混太 16.88 杵掛中	下里 功大 18.94 長良中
	円盤投 (1.000kg)	松尾 尚樹 39.89 豊橋陸上クラブ	小林 連 33.60 守山西中	倉知 亮博 33.15 森孝中
	ジャベリック スロー	浅野 伸明 56.88 森孝中	松井 英昭 53.88 千種台中	日下 拓 53.47 篠目中
ジュニア女子	100mH (0.762m)	大坪あかり 16.59 南稜中	鈴木 香梨 18.74 豊川南部中	外山 愛美 19.50 河和中
	円盤投 (1.000kg)	中島明日香 29.40 杵掛中	近田 茜 24.00 長良中	秦 泳里 22.36 小坂井中
	ジャベリック スロー	近田 茜 38.05 長良中	杉山 晴代 28.82 千種台中	南郷 望 26.99 逢妻中

第4回愛知レディース陸上競技大会

第4回愛知レディース陸上競技大会を、7月7日(土)、県混成競技大会・県選手権リレーの第1日目と同時に開催しました。当日の天候は曇り、気温28度前後、ほとんど風もなくまずまずのコンディションでした。参加数は、個人種目345名、リレー14チームでした。特に中・高校生の参加者が昨年より150名も増加し、本大会が定着しつつあるのを実感しました。

競技は、中学の5種目、高校・大学・一般の5種目、マスターズの1種目で大会新記録が生まれ、大変に盛り上がりました。また参加者からは、「もっと種目を増やして開催してほしい」との声があがり、今後大会が更に発展していくものと期待されます。一方で、日本陸連女性委員会が、女子の新種目として力を入れている3000mSCの参加者が少なかったのが残念でした。

大会の審判員には、50名の女性が活躍しました。女性審判員数は、なかなか増加してこないのが現状です。しかし本大会では、5名の方が、審判デビューをされました。今

後は、更に参加協力を呼びかけていきたいと考えています。
最後に、本年度も優勝者に、花束の提供をしていただきました Milky Way (中区栄・花店) に心より御礼を申し上げます。

第4回愛知レディース陸上競技大会優勝者一覧

中学			
100m	12.71	近藤 里佳 (千種)	GR (大会記録)
1500m	4.42.30	下村 環加 (沓掛)	GR
100mH	15.76	藤岡 杏奈 (沓掛)	GR
走高跳	1.50	大田 彩加 (扇台)	GR
走幅跳	4.91	布施 和花 (平田)	
砲丸投	13.39	近田 茜 (長良)	GR
高校・大学・一般			
100m	12.13	新谷 美佳 (小島プレス)	GR
1500m	4.42.79	安川 裕子 (名古屋大)	
100mH	14.77	中川 涼子 (中京大中京高)	
400mH	65.58	西尾真梨子 (中京大中京高)	
3000mSC	12.28.52	難波あゆみ (南山大)	
走高跳	1.67	竹内 梨里 (至学館高)	GR
走幅跳	5.18	鈴江あずさ (愛工大名電高)	GR
三段跳	11.44	岩川 歩美 (至学館高)	
砲丸投	11.66	伊東亜優美 (惟信高)	GR
円盤投	37.20	加藤 千枝 (至学館高)	GR
やり投	40.24	東野 麻衣 (愛知教育大)	
マスターズ			
100m	13.85	谷崎 好美 (愛知 AC)	GR
1500m	5.45.01	米谷 悦子 (名古屋市役所)	
リレー			
100m+200m+300m+400m	2.25.40	瑞陵高 (奥村・安保・國井・山田)	

第67回愛知陸上競技選手権大会
兼第50回東海陸上競技選手権大会予選会
兼第62回国民体育大会愛知県予選会決勝一覧表
2007年7月21日~22日 名古屋市瑞穂公園陸上競技場

男子トラック

種目	1位	2位	3位
100m	加藤 広大 10.65 中京大	田中 星次 10.68 トヨタ自動車	山田 聖 10.73 愛知教育大
200m	岡本 勝太 21.60 中央大	嶋屋 昌芳 21.70 小島プレス	服部 辰也 21.72 中京大
400m	大川 光 47.53 岐阜経済大	増岡 広昭 48.02 東洋大	東 哲久 48.36 愛知学院大
800m	栗津 良介 1.54.83 愛工大名電高	大須賀秀和 1.55.22 愛知学院大	杉浦 正和 1.57.00 浜松大
1500m	三田 裕介 3.56.06 豊川工高	角田 達彦 3.58.96 トーエネック	樋口 諒 4.01.86 慶應大
110mH (1.067m)	飯田 将之 13.93 早稲田大	久田 尚弥 14.12 さかえクリニック TC	加納浩一郎 14.75 中京大中京高
400mH (0.914m)	増岡 広昭 51.47 東洋大	伊藤 博貴 51.50 中京大	原 勇太 53.81 トヨタ自動車
3000mSC	加藤 聡 9.06.80 トヨタ自動車	山下 洸 9.12.13 中京大	石塚 誠 9.19.95 愛知学院大
5000mW	吉原 政人 21.20.69 プロシード	平野 博之 21.25.17 金沢経済大	鈴木 基文 21.41.36 豊川工高

男子フィールド

種目	1位	2位	3位
走高跳	真鍋 周平 2.05 トヨタ自動車	舟瀬 勇太 2.00 中京大中京高	杉江 浩一 2.00 中京魂
棒高跳	有木 健人 5.30 ハートアンドト GR	二村 大助 4.80 中京魂	谷口 直土 4.70 中京魂

走幅跳	嶋川福太郎 7.26 さかえクリニック TC	西 航司 7.19 名古屋大谷高	山内 良太 7.01 大体大
三段跳	村上 智史 15.84 日本大	宮崎 隆介 14.51 ひでそんズ	山崎 喜生 14.44 ひでそんズ
砲丸投 (7.260kg)	久保 浩司 13.54 中京大	廣瀬 剛史 13.26 中京大	藤村 信之 12.90 トヨタ自動車
円盤投 (2.000kg)	廣瀬 剛史 41.59 中京大	久保 博規 38.59 中京大	宮本 英幸 36.14 岡崎TFC
ハンマー投 (7.260kg)	久保 浩司 60.87 中京大	北浦 弘之 54.74 中京大クラブ	瀧 友孝 52.57 名古屋高
やり投 (0.800kg)	土田 基由 62.73 至学館高	高橋 孝郎 60.87 愛知学院大	大野 忍 60.47 ライズ

最優秀選手 有木 健人 (ハートアンドハート)

女子トラック

種目	1位	2位	3位
100m	五明 淑恵 11.89 小島プレス	河原崎中央里 12.05 日本体育大	新谷 美佳 12.09 小島プレス
200m	門奈 美和 25.02 中京女子大	新谷 美佳 25.09 小島プレス	市川 華菜 25.49 岡崎城西高
400m	門奈 美和 55.40 中京女子大 GR	柘植 早織 55.64 至学館高	増田 由菜 57.14 中京女子大
800m	成瀬 直 2.14.51 愛知教育大	松原 有沙 2.16.38 瑞陵高	服部真紀子 2.19.04 愛知教育大
1500m	武田知江美 4.29.02 光ヶ丘女高	二宮悠希乃 4.29.55 豊川高	奥田和佳奈 4.30.47 豊川工高
100mH (0.840m)	山崎由加里 13.63 さかえクリニック TC GR	中川 佳美 14.17 中京大中京高	安藤由加里 14.25 至学館高
400mH (0.762m)	石田 朋美 62.03 名城大附属高	増田 由菜 62.93 中京女子大	石田麻奈巳 63.39 日本体育大
5000mW	福本 美奈 24.36.17 千種高	光田 理子 25.34.41 津島北高	伊藤 幸恵 26.17.57 小島プレス

女子フィールド

種目	1位	2位	3位
走高跳	河澄 真子 1.71 岡崎城西高	高山 歩 1.68 中京女子大	日高 里子 1.68 トヨタ自動車
棒高跳	横井恵里香 3.50 中京大	吉原 礼 3m40 筑波大	松山由香里 三好高 横井 杏奈 中京大中京高 2.20
走幅跳	賀川 綾子 5.68 名古屋西高	鈴木 瑞笑 5m54 KSAC	田村 彩湖 5.48 中京大クラブ
三段跳	森 あさか 11.73 愛知教育大	岩川 歩美 11.70 至学館高	浅井 奈央 11.15 岡崎城西高
砲丸投 (4.000kg)	久間みのり 12.09 中京女子大	加藤 博子 11.42 豊川工高	羽田野真由 11.29 至学館高
円盤投 (1.000kg)	加藤 千枝 39.73 至学館高	加藤 博子 36.37 豊川工高	菅原はるか 35.77 愛知教育大
ハンマー投 (4.000kg)	野田 奈央 49.40 大体大	畔柳 里恵 46.67 中京女子大	合澤 理絵 46.40 中京大クラブ
やり投 (0.600kg)	吉野 菜美 45.69 中京女子大	大野真由美 45.52 小島プレス	久田 優子 44.93 中京大

最優秀選手 山崎由加里 (さかえクリニック TC)

第53回全日本中学校通信陸上競技愛知県大会
2007年7月16日名古屋市瑞穂公園陸上競技場

GR: 大会新記録 ◎: 全国大会標準記録突破

種目	1位	2位	3位	
男子トラック	100m	鈴木 祐太 11.51 本郷	河室 裕貴 12.05 弥富	桐野 将一 12.26 尾西一
	1500m	加藤 高徳 4.30.56 沓掛	河合 晃平 4.33.16 下山	於久 幸大 4.34.34 扶桑
	100mH	笹田 康弘 11.39 名古屋東海	渡辺 将志 11.41 青陵	梅村 悠希 11.79 一柳
		柴田 将寛 11.42 安城北	石野 雄士 11.48 名古屋東海	永井健太郎 11.58 今伊勢
	200m	大野 将士 22.93 八王子◎	永井健太郎 23.10 今伊勢	青山 勝 23.34 南稜

男子トラック	400m	荒井 健太 滝ノ水 52.21 山田 涼馬 浅井	壁谷 智之 52.65 六ツ美北
	800m	山本 健太 2.00.88 豊川東部◎	浜口 修平 2.02.27 葵
	1500m	小島 秀斗 4.14.02 今伊勢	西尾 尚也 4.14.16 新城
	3000m	小島 秀斗 9.01.38 今伊勢	近並 郷 9.01.56 泉
	110mH (0.914m)	西澤 翔 14.69 田原◎	北川 陽一 15.25 刈谷東
	4×100m	刈谷東 44.39 上村 勇人 GR 北川 陽一 西淵 大貴 西川 龍馬	南稜 44.58 鈴木 健 小林 裕典 青山 勝 中村 千暁
男子フィールド	走高跳	澤田 裕貴 1.88 南稜◎	道脇 大斗 1.85 大府西◎
	棒高跳	佐野 貴太 3.80 代田中	折田 尚也 3.60 岡崎南
	走幅跳	浅野 伸明 6.51 森孝◎	尾崎 裕一 6.50 岡崎南◎
	砲丸投 (5.000kg)	清水 大樹 12.89 味美 GR	田中 亮 11.77 上郷

女子トラック	100m	森 佑紀那 12.67 長良	松原 可依 13.67 知多知多	伊藤比奈子 13.80 古知野
		山田 恵里 12.57 長良◎	家田 知佳 12.62 東浦西部◎	青柳 妃咲 12.98 安城北
		船坂 実来 13.04 北陵	近藤 里佳 13.07 千種	久野 有咲 13.12 東浦西部
	200m	近藤 里佳 26.18 千種◎	山田 瑞紀 26.83 田原東部	山本 知奈 27.13 竜海
		松下紗矢香 2.15.42 扇台◎	加藤 彩季 2.16.19 愛教大附岡崎◎	向井 香瑛 2.20.90 扇台
	1500m	下村 環加 4.37.70 沓掛◎	鈴木 萌未 4.38.48 矢作◎	中根 実来 4.45.08 平坂
100mH (0.762m)	水上 祥子 15.40 武豊	森脇 美優 15.44 萩山	菅田 真智 15.51 扇台	
4×100m	長良 49.83 梅村かや乃 森 佑紀那 山田 恵里 稲富 ゆい	豊南 50.55 坂部 愛奈 門 実里 西川 彩乃 藤岡 稚子	千種 50.84 矢野 里奈 近藤 里佳 荒津 惇 鳥居真理奈	
女子フィールド	走高跳	佐藤 菜南 1.57 滝ノ水◎	中村加代子 1.57 鶴城◎	近藤 董 1.54 沓掛
	走幅跳	深谷 実咲 5.35 東浦◎	河室 成美 5.12 弥富	布施 和花 5.01 平田中
	砲丸投 (2.721kg)	近田 茜 13.60 長良◎	高橋 奈美 12.14 六ツ美	不破 千晴 11.74 竜海

平成 19 年度東海高校総体入賞者一覧
平成 19 年 6 月 15 日 (金) ~ 17 日 (日) 静岡スタジアムエコパ

[男子]

No.	種目	順位	記録	氏名	校名
1	100m	1	10.70	三輪 将之	中京大中京
2		2	10.72	都築 純	西尾
3	200m	1	21.62	鈴木 大介	名古屋大谷
4		3	21.81	杉本 隆	岡崎城西
5		4	21.81	都築 純	西尾
6	400m	5	21.90	市川 真央	名古屋
7		2	48.00	恩田 健人	惟信
8	800m	6	48.85	安藤 靖人	菊里
9		1	1.53.21	粟津 良介	愛工大名電
10	4	1.54.59	杉田 祐平	中部大第一	

11	1500m	1	3.57.42	粟津 良介	愛工大名電
		2	3.58.07	市川宗一郎	岡崎
13	5000m	4	3.58.59	田中 秀幸	豊川
14		6	3.58.81	鷗田 雅哉	豊川工
15		1	14.30.38	三田 裕介	豊川工
16	110mH	4	14.36.30	早川 智浩	豊川工
17		6	14.46.36	田中 秀幸	豊川
18	400mH	1	14.91	加納浩一郎	中京大中京
19		3	15.00	丹羽 宏朗	瑞陵
20		5	15.10	横山 亨大	豊橋工
21		6	15.14	波多野良平	豊川
22	3000mSC	4	53.51	山本 躍斗	岡崎城西
23		6	54.21	山内 博貴	中京大中京
24	5000mW	1	9.18.21	松下 智之	愛工大名電
25		2	9.18.90	今枝 浩二	至学館
26		5	9.20.32	三方 勇輔	惟信
27	4×1000mR	1	21.52.75	鈴木 基文	豊川工
28		5	22.49.53	金田 淳志	豊川工
29	4×400mR	2	41.29	三輪・屋貝・山崎・伴野	中京大中京
30		4	41.45	村田・市川・加藤・平本	名古屋
31		5	41.49	中村・屋貝・杉本・山本	岡崎城西
32	走高跳	4	3.19.28	中嶋・市橋・松下・牧野	時習館
33		5	3.20.67	屋貝・中村・杉本・山本	岡崎城西
34	走幅跳	6	3.20.69	都築・屋貝・加納・山内	中京大中京
35		2	2.04	中村 明彦	岡崎城西
36	三段跳	6	1.95	舟瀬 勇太	中京大中京
37		2	7.16	西 航司	名古屋大谷
38	砲丸投	2	14.65	鈴木 雄貴	中京大中京
39		6	14.51	土井 春亮	名城大附
40	ハンマー投	4	51.87	葛西 建人	起工
41		5	50.31	井上 悟	起工
42	やり投	1	64.66	土田 基由	至学館
43		6	56.78	勝川 順平	山田
44	8種競技	1	5129点	土井 洋	名城大附
45		2	4948点	神藤 貴徳	豊橋南

男子総合 3 位 中京大中京 6 位 愛工大名電
トラックの部優勝 中京大中京

[女子]

No.	種目	順位	記録	氏名	校名
1	100m	5	12.22	前川 奈央	三好
2		6	12.25	今井沙緒里	至学館
3	200m	2	24.94	今井沙緒里	至学館
4		2	55.99	太田 英里	瑞陵
5	400m	4	56.74	柘植 早織	至学館
6		6	57.45	樋口 光華	愛知淑徳
7	800m	3	2.14.91	松原 有沙	瑞陵
8		5	2.15.64	吉川 侑美	桜花学園
9	1500m	1	4.22.11	鈴木亜由子	時習館
10		2	4.24.34	奥田和佳奈	豊川工
11	3000m	6	4.30.18	中條 宏美	愛知淑徳
12		1	9.15.59	ワイセラ・G・ワイルム	豊川
13	100mH	2	9.20.21	二宮悠希乃	豊川
14		3	9.31.61	奥田和佳奈	豊川工
15		4	9.31.88	加藤 麻美	豊川
16	400mH	5	9.33.05	花岡 紗耶	中京大中京
17		1	14.35	中川 佳美	中京大中京
18	400mH	2	14.41	安藤由加里	至学館
19		1	61.67	石田 朋美	名城大附
20	3000mW	2	62.13	田中 美穂	春日井
21		1	14.05.70	福本 美奈	千種
22	4	14.38.38	光田 理子	津島北	

23	4×100mR	3	47.34	花井・安藤・ 柘植・今井	至学館
24		5	47.84	田村・越・ 後藤・市川	岡崎城西
25	4×400mR	2	3.50.22	浜崎・安藤・ 後藤・今井	至学館
26		3	3.51.28	福島・水口・ 小林・樋口	愛知淑徳
27	走高跳	2	1.67	竹内 梨里	至学館
28		4	1.64	川澄 真子	岡崎城西
29		5	1.61	服部 珠美	豊 丘
30	走幅跳	4	5.92	賀川 綾子	名古屋西
31	円盤投	1	39.39	加藤 千枝	至学館
32	やり投	3	43.18	國中美沙紀	至学館
33	7種競技	1	4651点	太田 穂	名城大附
34		4	3905点	谷口 亜実	横須賀
35		5	3892点	石川 真以	名城大附

女子総合優勝 至学館 3位 中京大中京
トラックの部2位 至学館 フィールドの部優勝 至学館

**平成19年度 全国高等学校総合体育大会
(佐賀県総合運動場)**
平成19年8月2日(木)~6日(月)
陸上競技対抗選手権大会

◎男子 ○は順位

種目	氏名	学校名	予選	準決	決勝
100m	三輪 将之	中京大中京	①10.86	⑥10.79	
	都築 純	西 尾	③11.01		
200m	鈴木 大介	名古屋大谷	①21.91	①21.95	⑤22.27
	市川 真央	名古屋	③22.54		
	都築 純	西 尾	⑦22.63		
	杉本 隆	岡崎城西	③22.47		
400m	恩田 健人	惟 信	④49.70		
	安藤 靖人	菊 里	③49.67		
800m	杉田 祐平	中部大第一	⑦2.03.66		
	栗津 良平	愛工大名電	①1.53.95	①1.53.66	①1.51.66
1500m	市川宗一朗	岡 崎	④3.59.08		
	栗津 良平	愛工大名電	⑬4.02.78		
	鷺田 雅哉	豊 川 工	⑫4.03.35		
	田中 秀幸	豊 川 工	⑥3.56.74		
5000m	田中 秀幸	豊 川 工	⑫15.13.08		
	早川 智浩	豊 川 工	⑭15.30.98		
	三田 裕介	豊 川 工	②14.53.72		④14.11.45
110mH	加納浩一郎	中京大中京	④15.08	⑤15.03	
	横山 亨大	豊 橋 工	④15.62		
	丹羽 宏朗	瑞 陵	③15.18		
	波多野良平	豊 川 工	③14.99	⑥15.11	
400mH	山本 躍斗	岡崎城西	①53.84	⑧55.44	
	山内 博貴	中京大中京	④54.74		
3000mSC	今枝 浩二	至 学 館	⑦9.31.15		
	三方 勇輔	惟 信	⑮10.14.44		
	松下 智之	愛工大名電	⑤9.26.10		
5000mW	鈴木 基文	豊 川 工	③22.13.50		④22.26.85
4×100mR		岡崎城西	①42.14	③41.98	
		名古屋	②42.17	④41.85	
		中京大中京	①41.72	③41.74	⑥41.13
4×400mR		時 習 館	④3.18.21		
		岡崎城西	③3.19.48		
		中京大中京	⑤3.21.94		
走高跳	舟瀬 勇太	中京大中京	⑦2.00		⑩1.97
	中村 明彦	岡崎城西	⑨1.97		
走幅跳	西 航司	名古屋大谷	③7.20		⑫6.90
三段跳	鈴木 雄貴	中京大中京	②13.72		
砲丸投	土井 春亮	名城大附	⑦14.21		
ハンマー投	井上 悟	起 工	⑤44.60		
	葛西 健人	起 工	⑤41.69		

やり投	勝川 順平	山 田	⑩55.59		
	土田 基由	至 学 館	⑩59.43		
八種競技	土井 洋	名城大附			⑩5061点
	神藤 貴徳	豊 橋 南			⑩4768点

◎女子 ○は順位

種目	氏名	学校名	予選	準決	決勝
100m	今井沙緒里	至 学 館	②12.57	⑦12.70	
	前川 奈央	三 好	⑦12.65		
200m	今井沙緒里	至 学 館	②25.23	④25.19	
	樋口 光華	愛知淑徳	④57.13	⑦59.52	
400m	柘植 早織	至 学 館	②57.13	②56.62	⑤60.38
	太田 英里	瑞 陵	②57.45	③56.08	⑧60.61
	松原 有沙	瑞 陵	⑦2.16.64		
800m	吉川 侑美	桜花学園	⑥2.18.07		
	中條 宏美	愛知淑徳	⑩4.38.85		
1500m	鈴木亜由子	時 習 館	④4.29.66		⑩4.29.06
	奥田和佳奈	豊 川 工	④4.27.86		⑮4.35.11
3000m	ワイセラ G ワイム	豊 川 工	①9.22.52		③9.05.49
	花岡 紗耶	中京大中京	⑩10.16.84		
	奥田和佳奈	豊 川 工	⑦9.30.09		
	二宮悠希乃	豊 川 工	⑩9.37.67		
	加藤 麻美	豊 川 工	⑩9.43.33		
	安藤由加里	至 学 館	②14.47	⑤15.13	
100mH	中川 佳美	中京大中京	⑦19.83	③14.33	⑥14.12
400mH	石田 朋美	名城大附	②61.61	④61.65	
	田中 美穂	春日井	④64.24		
3000mW	福本 美奈	千 種			⑦14.08.81
4×100mR		岡崎城西	②48.19	失 格	
		至 学 館	①47.92	⑦48.15	
4×400mR		愛知淑徳	②3.52.03	④3.53.02	
		至 学 館	②3.52.34	③3.48.39	⑥3.50.03
走高跳	川澄 真子	岡崎城西	②1.66		④1.72
	服部 珠美	豊 丘	⑩1.63		
	竹内 梨里	至 学 館	⑦1.63		
走幅跳	賀川 綾子	名古屋西	①5.94		⑩5.76
円盤投	加藤 千枝	至 学 館	④40.01		⑭38.75
やり投	國中美沙紀	至 学 館	⑩40.15		
七種競技	太田 穂	名城大附			⑩4128点

「第42回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会」
平成19年8月13日(月)~15日(水) 東京：国立競技場

今年は久しぶりに全国制覇を狙える40名を超える選手団となった。記録のベスト10に愛知から多くの選手が入り期待が高まった。大会の3日間は猛暑でコンディションを整えるのに選手は大変であった。特に水分や栄養補給に注意を払った。

成績は科技高刈谷を中心に15種目に入賞を果たし、男女総合・男子総合で3年連続の3位入賞、女子総合も昨年の順位を大きく上回る5位入賞であった。



がんばったよ！(国立競技場にて)

男子—200m 6位山崎健太、1500m 5位近藤仁、5000m 4位三浦誠、400mH 6位小島徹、2000mSC 2位榊原義彦、5位近藤優輝、4×400mR 3位愛知選抜、走幅跳 2位・三段跳 4位西村太志（以上科技高刈谷）4×100mR 3位愛知選抜、女子—400m・800m 共に2位松橋七恵（科技高刈谷）、100mH 4位都築理沙（岡崎工業）4年連続入賞、6位櫻井京子（科技高刈谷）、4×100mR 3位愛知選抜。前次憲男子監督、有路義敦女子監督の手腕が今年もさえ、リレー3種目が共に銅メダルを獲得し、愛知県選手団は喜びと感動に沸き、来年へ夢をつないだ。（松橋 政人）

**第20回 都道府県対抗・全日本マスターズ駅伝
滋賀大会愛知県成績**
平成19年6月10日（日）滋賀県希望が丘文化公園特設コース
監督 松本 幸人

男子の部 1.56.58 第5位（参加31府県）

区間	距離	クラス	選手名	所属	区間記録
1	7.0k	M40	村瀬 裕之	愛知製鋼	23.09 ⑦
2	5.0k	M60	佐野 昭二	愛知県庁クラブ	18.37 ④
3	5.0k	M55	馬場 哲	トヨタスポーツマンク	18.32 ⑭
4	5.0k	M50	岩月 幹俊	牧内ミルク	17.33 ⑨
5	5.0k	M45	下川 勝彦	トヨタスポーツマンク	60.52 ⑤
6	7.0k	M35	江本 悟司	三菱自工岡崎	22.15 ③

女子の部 1.00.49 第4位（参加17府県）

区間	距離	クラス	選手名	所属	区間記録
1	5.0k	W35	青戸 敦子	栄クリニック	19.10 ⑤
2	3.0k	W40	中山 淳子	愛教大名古屋	11.19 ④
3	3.0k	W40	加藤 順子	菊里クラブ	11.39 ⑦
4	5.0k	W35	岩月美貴恵	館クラブ	18.41 ⑤

エルダーの部 1.06.40 第9位（参加22府県）

区間	距離	クラス	選手名	所属	区間記録
1	5.0k	W50	東 二三子	三好走ろう会	21.23 ⑩
2	3.0k	M60	小山 真一	愛知マスターズ	12.34 ⑮
3	3.0k	W55	前田真由美	東海走友会	13.10 ⑬
4	5.0k	M60	大泉 通	東海走友会	19.33 ⑦

**世界陸上大阪大会観戦記
中・高校生44名が感動の体験!!!**

○私は今回、この大阪陸上に来て本当に良かったと思います。日本の選手のすばらしい活躍と共に、世界の選手をこの目で見るチャンスを与えてもらって本当に心からうれしいです。私が強く感じたのは、日本の観戦者の応援でした。私も全国大会のとき、すごく緊張していたら、応援の声を聞いてとても勇気をもらいました。たぶんこの気持ちは、だれもが共感することだと思います。なので、少しでも選手に私の声が届いたらいいなと思いました。（扇台中 松下紗矢香）

○世界陸上に招待していただきありがとうございました。世界陸上に出場していた選手はみんな堂々としていて、すばらしいパフォーマンスを僕たちに見せてくれました。また、テレビで見るのと違って、世界陸上なりの盛り上がり方や迫力がありました。僕も一度は大勢の人たちから声援を受けてみたいと思いました。何年後になるかわからないけど、大きな舞台で走ってみたいと思いました。（私立東海中 笹田 弘）

○世界のトップレベルの人たちが競い合う世界陸上。室伏

選手、朝原選手など、日本のトップの人たちが試合をしているのを見て一番思ったことは、「やっぱり世界の壁は高い」です。室伏選手が目標の80mを越したのに、それ以上投げた人が5人もいます。朝原選手が渾身の走りをしたのに、準決勝敗退。朝原選手の涙を見て、世界の広さを感じました。（愛教大附属岡崎中 加藤 彩希）

○今回世界陸上を見て、ビックリしたり、感動したりしたけど、一番思ったことは、世界陸上に出てトップを走ってみたいということです。その為にしっかりこれからも練習して、感謝の気持ちを忘れないようにします。（今伊勢中 小島 秀斗）

○世界のトップレベルの選手の走る姿を見て、「私も将来あんなふうになれる選手になりたい」と思いました。全日中とかよりも全然迫力があって、選手たちのオーラも、普段感じられない変わったオーラを身近で感じることができてよかったです。（東浦西部中 家田 知佳）

○世界陸上で見たことは、これからもずっと心に残り、中学校最後の思い出としてすごくよかったと思います。僕もいつか世界陸上に出られる選手になりたいです。（成岩中 宇都宮直幸）

○世界陸上を見て「やっぱり世界のトップの人たちの走りやスタートはすごい」と思いました。100mの決勝は同体がたくさんいて0.01秒という細かい所までの戦いはすごかったです。私も、この世界陸上の人たちの走りを見たいです。（長良中 山田 恵理）

○世界陸上という舞台を訪れて驚いたこと、それは競技場の大きさと雰囲気でした。走幅跳、走高跳を始めとしたフィールド競技での観客の手拍子を最初に聞いた時は、「オレもここでやってみよう!!」と正直思いました。愛知の代表選手と共に行動することができたというのも自分の力になるけど、やっぱり「ここでやりたい、この中でやりたい!!」と目標を持つことができたので、自分にとってとても大きな2日間になりました。この2日間で学んだことを、自分の生活や陸上競技に生かしたいです。（浅井中 山田 涼馬）

○今回世界陸上を観戦させていただいて、初めて世界のすごさを肌で感じる事ができて本当に感動しました。大舞台ならではのアクシデントや、数々のプレッシャーをはねのけて掴む勝利、そして笑顔。プロの世界はきびしく、とてもキラキラと輝いて見えました。今回経験させていただいたことを今後の人生に生かし、努力していきたいです。本当にありがとうございました。（千種高 福本 美奈）

○日本で世界大会を開催するという事は、自分が生きている間でも数えるくらいしかないチャンス。そういう大会に県から行かせていただいて、すごく感謝しています。世界を生で観戦することができて、よい経験になりました。世界のレベルからももらった刺激を、明日からの自分に生かします。（中京大中京高 屋貝 博之）

○今回世界陸上に連れて行ってもらえるということで、「陸上競技」について改めて深く考える機会を得ることができ、とても嬉しく思っています。テレビで見ているのと、実際に見るとでは、選手一人一人から伝わってくる迫力が格段に違いました。まさに圧巻でした。この機会があったことで、さらに陸上のことを好きになることができ、また、世界の壁はものすごく高いと実感しました。（春日井高 田中 美穂）

○日本人とのレベルの違いが明らかにあった。正直、当分日本人は外人に勝てないと思う。しかし、将来世界を変えてくれる人が現れると思う。昨日、今日と見て、絶対JAPANのユニフォームが着たいと思いました。

(名古屋大谷高 鈴木 大介)



栄章

おめでとうございます



去る7月22日(日)愛知選手権大会の2日目に、特別表彰と会長表彰が行なわれた。(敬称略)

愛知陸上競技協会 特別表彰
室伏 由佳

中部実業団対抗陸上競技大会女子円盤投にて58m62の日本新記録を樹立した。

愛知陸上競技協会 会長表彰

数馬 公 佐野 昭二 岩瀬 一
安藤 好郎 小島 末広 柴田 要吉

永年にわたり陸上競技の発展向上のため多大の貢献をした。

理事会等会議報告

○常務理事会 7月10日(火) 愛知県教育会館

1 協議事項

- ①平成19年度愛知陸上競技協会会長表彰について
- ②第30回全日本マスターズ陸上選手権・愛知大会開催について
- ③第26回レディース陸上開催準備等について
- ④2007名古屋ハーフマラソン大会要項について
- ⑤専門委員会委員の委嘱について
- ⑥その他

2 報告事項

- ①愛知選手権大会「選手権章寄贈者」の報告
- ②日本陸連評議員会の報告
- ③愛知陸協OB会開催の報告
- ④愛知駅伝に関する事項の報告
- ⑤専門委員会の報告
- ⑥その他

○理事会 8月10日(金) 愛知県教育会館

1 協議事項

- ①第62回国民体育大会「愛知県代表選手団(役員・選手)」の選考について
- ②国体代表選手の強化合宿について
- ③2009年度第30回全日本マスターズ陸上選手権・愛知大会開催について
- ④中学生登録料の改定(値上げ)について
- ⑤その他

2 報告事項

- ①全国女性委員会について
- ②全国高等学校陸上競技対抗選手権大会の成績について
- ③名古屋シティマラソン実行委員会について
- ④「第19回愛知県勤労者スポーツ大会」の運営協力について
- ⑤名古屋ハーフマラソン大会の要項について
- ⑥日本陸連主催「陸上教室」について
- ⑦東海中学校総合体育大会開催準備について
- ⑧各専門委員会報告
- ⑨その他

(稲垣 裕)

お く や み

長年、本県の陸上競技発展のため多大のご尽力をいただきましてありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名	逝去年月	支部名
加藤 侃方	19・6	東三河
西山 鐸美	19・8	名古屋

お詫び…6号にて誤字・欠落がありました。訂正し、深くお詫びします。

①誤

②正

p 4	秦 聖喜	秦 聖喜
p 11	国中美沙紀	国仲美沙紀
p 12	石田美知恵	石田美知枝
〃	新垣 裕	稲垣 裕
〃	(協会役員追加)	秘書 宮本 智

編 集 後 記

▲第7号の発行、ご協力に感謝します。競技会の結果をできる限り多く掲載しました。▲特集記事「ホープさん②」と「クラブ紹介」はいかがでしたか?今後も掲載予定。乞う!応募。▲中・高生による「世界陸上大阪大会観戦記」。感動を与え、大きな成果。今後へ期待したい。

編 集 委 員

占部 輝之	大久保真理子	大西 敏功	外山 修
中尾 洋一	新美 準人	西垣 完彦	野口 一昭
山本 三郎			